

# 新型インフルエンザ対応総合訓練

インフルエンザウイルスH5N1による「鳥から人へのインフルエンザ感染」は、東南アジアを中心に拡大しており、300名を超える感染者のうち約200名の死亡と、高い死亡率が認められている。H5N1が変異し、「人から人へ感染する新型インフルエンザ」が発生した場合には、短期間のうちに世界中に感染が拡大し、社会的な混乱を引き起こす可能性が高い。

新型インフルエンザが発生した場合に、政府・自治体が一体となって早期に万全の対応がとれるよう、全省庁及び自治体による新型インフルエンザ対応総合訓練を下記のとおり実施する。

## 記

### 1. 日 時

平成19年11月16日（金） 終日

### 2. 訓練参加省庁及び自治体

内閣官房、関係省庁、千葉県及び成田空港検疫所

### 3. 訓練の概要

新型インフルエンザ発生から国内での大流行までを想定した総合訓練を実施する。

（訓練の内容）

- ・ 関係省庁及び千葉県における訓練課題への回答等の机上訓練
- ・ 国と千葉県によるテレビ会談
- ・ 成田空港検疫所及び千葉県による患者搬送等の実働訓練 等

# インフルエンザ訓練の流れ

フェーズ3(現状):  
鳥から人への感染を認めるが、  
人から人への持続的な感染は認められない。

